

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 教総-14 中学校施設整備事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	学校施設課	関連課					
分野名	学校教育						
目標 (目標値)	市立中学校9校の良好な教育環境を確保します。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳) ※各年5月1日現在		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人			
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	児童数	3,052人	3,046人	2,940人			
運営資源状況	決算値(千円)	1,300,899千円	300,246千円	488,681千円	22年度人件費 8,519,656円/人 (21年度人件費) 8,683,109円/人 (20年度人件費) 8,819,250円/人		
	(国・県)	296,222千円	172,971千円				
	(負担金等)						
	(一般財源)	1,004,677千円	127,275千円	488,681千円			
	人員配置数	0.2人	0.2人	0.2人			
	人件費(千円)	1,704千円	1,737千円	1,764千円			
	協働のパートナー						
事務事業運営経費	総事業費(千円)	1,302,603千円	301,983千円	490,445千円			
	市民1人当りの経費(円)	7,353円	1,709円	2,779円			
	対象者1人当りの経費(円)	426,803円	99,141円	166,818円			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
乾式床トイレ普及率	△	目標値	10.7%	17.7%	17.7%	17.7%	
		実績値	10.7%	17.7%			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。			②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。					
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。			④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。					
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)		⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止					
中学校施設整備事業	1,300,899千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○			⇒	■A	□B	□C	□D	□E	
	事業の概要	第二中学校の改築工事、外溝工事及び既存体育館解体工事。深沢中学校特別支援教室改修工事。									
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要										

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	大船中学校改築、トイレ改修及び管理諸室冷暖房設備設置に係る事業が遅滞している。深沢中学校、大船中学校(改築時接続予定)、岩瀬中学校及び玉縄中学校については、公共下水道への接続が未だ完了していない。
課題解決のための取組	本市立小中学校のうち唯一耐震強度を満たしていない大船中学校の生徒等の安全を確保するため、避難措置として、事業計画の前倒しによる仮設校舎の建設について、平成23年度中に実施できるよう国、県及び関係各課と調整のうえ所定の予算措置を行った。併せて、大船中学校仮設校舎建設予定地の土地利用履歴調査を行った。中学校3校分の管理諸室冷暖房設備設置工事について、平成23年度に施工できるよう関係各課と調整のうえ所定の予算措置を行った。
未解決の課題	大船中学校の改築工事について。第一、御成及び手広中学校の管理諸室冷暖房設備の設置時期について。(第二・深沢…設置済、腰越・岩瀬・玉縄…平成23年度設置予定、大船…平成23年度仮設校舎に設置予定) 深沢、岩瀬及び玉縄中学校の公共下水道への接続時期について。当該事業の指標として掲げている「トイレ床乾式率」について、近年、小学校を優先的に進めていること、また、2箇年(1年目設計、2年目工事)に1校のペースでトイレ改修を実施していることから、目標値の達成まで長期化するおそれがある。
今後の方針	大船中学校の改築を最優先課題とし、ローリング時において後期実施計画に採択されるよう関係各課との調整を図る。併せて、トイレ改修、公共下水道接続及び管理諸室冷暖房設備設置について、関係各課との調整を図りながら早期実現に努めたい。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ A ※ <input type="checkbox"/> 事業完了 課長名 中里 一男

